

第3回： 雑排水対策

開催日： 1983年11月14日～15日 / 会場： 「自動車会館」東京都

開催趣旨： わが国における水質汚濁問題は毎年わずかながら改善される方向にありましたが、ここ2,3年は横這いの状態にあり、とくに湖沼や都市河川の水質汚濁がクロージアアップされてきました。これらの水域の汚濁の原因は主として生活雑排水のたれ流しにあると考えられており、各自治体でもその対策にさまざまな努力がなされているところでもあります。

当協会でも、本問題の解決に努力しているところではありますが、このたび雑排水対策のあり方を行政および技術の両側面から考えるべく、下記のセミナーを開催します。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 環境庁における対応（片山徹／環境庁）
- 厚生省における対応（小林康彦／厚生省）
- 土壌浄化による雑排水処理（寺西靖治／広島大）
- 雑排水共同処理（北尾高嶺／豊橋技科大）
- 建設省における対応（奥井英夫／建設省）
- 農林水産省における対応（藤野欣一／農水省）
- 地方自治体における対応（百瀬敦海／全国生活排水対策連）
- 自然浄化機能を活用した雑排水対策（須藤隆一／国公害研）
- 雑排水対策のあり方（中杉修身／国公害研）
- 小型浄化槽による合併処理（大森英昭／(財)日環整備教育セ）